

# 「聖書学研究所」(Tokyo Institute of Biblical Studies) : 報告

2023.7.1.

聖書学研究所の働きは、いよいよ4年目に入りました。所員2人、会員2人、準会員1人の研究所の働きですが、それぞれが、牧会その他の多くの奉仕を抱える中での研究活動ですから、なかなか予定しているとおりに進展していない状況です。それでも、昨年度はいくらかの進展が見られ、いよいよポスト・コロナの世の中で、変わらない神のみことばを更に深く、教会の直面している現実の中で、研究し続けることの大切さを実感させられています。引き続き、聖書学研究所の働きを覚えてご支援とご加禱をよろしくお願いいたします。

所長 津村俊夫

## 記

### 1. 月例研究会 原則として月の第4木曜日午後2時半—5時半

昨年度は、いよいよ論文の一部を書き始める段階に入った会員・準会員との個人的な指導のために時間を使い、全体の会議は、隔月に行うことにしました。

2022年

- 4月 会員・準会員の研究プロポーザルの検討
- 6月 会員・準会員の研究の進捗状況の報告
- 9月 会員・準会員の研究の進捗状況の報告
- 12月 会員・準会員の研究の進捗状況の報告
- 2月 会員・準会員の研究の進捗状況の報告

### 2. 会員・準会員の研究テーマ

会員：田村 将 「癒しと救い：メソポタミアとイスラエルにおける『神の手』」

会員：星野仁子 「マラキによる説得—構成と論理的展開と修辞」

準会員：伊藤暢人 「並行法における yiqtol - qatal の用法」

### 3. 所員の活動報告

津村俊夫

長期計画：

1. *Was There a Cult of El in Ancient Canaan? Papers on Ugaritic Religion and Language* (Orientalische Religionen in der Antike) Tübingen: Mohr Siebeck (出版予定)
2. 『創造、混沌、戦い：創造論の再検討』(英文)

#### 研究報告：

1. 『聖書へブル詩の並行法：詩行の反復表現が現すもの』 ひつじ書房、2022 年。
2. *Vertical Grammar of Parallelism in Biblical Hebrew* (AIL47) Atlanta: SBL Press, 2023.
3. “Chaos and Chaokampf in the Bible”: Is ‘Chaos’ a Suitable Term to Describe Creation or Conflict in the Bible?” in *Conversations on Canaanite and Biblical Themes*, eds. by R. S. Watson and A. H. W. Curtis. (Berlin: De Gruyter, 2022), 243-81, 285-98 & 325-28.
4. "Creation Out of Conflict? The Chaokampf Motif in the Old Testament: Cosmic Dualism or *creatio ex nihilo*," *Congress Volume Aberdeen 2019* (Leiden: Brill, 2022), 474-91.
5. 「イディオム \*nš' + pānîm 『ひいきする』 と詩篇 82 篇 2 節に於ける意味」 *Exegetica* 31 (2022), 1-12.
6. “IL as the Collective Godhead 'Ilū in LB Ugarit,” *Journal for the American Oriental Society* 143 (2023), 365-83.
7. “Conversational Aposiopesis in the MT Samuel: Textual Omission or Conversational Ellipsis?” *Zeitschrift für die Alttestamentliche Wissenschaft* 135 (2023), 86-96.

#### 三浦讓

##### 長期計画

1. 「新約聖書におけるダビデ」
2. 「New Perspective on Paul の検討」
3. 「LXX と新約における Verbal Hendiadys (二詞一意) の用法」

##### 研究報告

1. 「New Perspective on Paul の検討」  
NPP における神学分野のうち、特に N. T. ライトの義認論についてまとめる（その結果の一部を夏期研修講座で発表）。
2. 「LXX と新約における Verbal Hendiadys の用法」  
כּוּשׁ のギリシア語の訳語における用法をまとめた後、現在は םוּק 訳語における用法の検討中。
3. 身体用語を含むイディオム研究：「『弱った手と衰えた膝』 — ヘブル人への手紙 12 章 12 節 —」 *Exegetica* 31 (2022), 55-66.

#### 4. オンライン・セミナー

ウガリト語研究会（月一度、第一火曜日、午後 8 時-10 時半）

へブル語聖書研究会（月一度、第三火曜日、午後 8 時-10 時半）